

# 大学病院と市中病院の特徴を兼ね備えた研修

## 大学病院的な要素

- ・スタッフの数が多し。
- ・診療科が揃っている。
- ・専門的治療部門がある。



## 市中病院的な要素

- ・研修医の数が多すぎない。（平成29年度定員：11名）
- ・Common Diseaseを多く診れる。



※1年次6か月必修の内科には、循環器、呼吸器、消化器はじめ腫瘍内科といった特殊領域まで各専門医が揃っています。

※日本医大の特色である救命救急センターはもちろん、周産期母子医療センター（NICU、GCU）、消化器病センター、血管内・低侵襲治療センターが併設されています。大学病院ならではの高度専門医療の研修を受けられます。

## 小回りの利く研修医教育プログラム

毎週土曜日朝の研修医研修会、年3回の研修医発表会など研修医教育プログラムが盛りだくさん。学会、研究会等で発表の機会が与えられます。指導医と研修医の比が理想的とも言える当院ならではの親身な指導が受けられます。

### ICLS講習会



### ブタを用いた外科手技の練習会



研修医の人数が多すぎず少なすぎない人数だからこそ、このような講習会や手技練習ができます。

# 先輩の声

## 武蔵小杉は今最もアツい場所の一つです！

循環器内科専修医(2年目) 大熊 慧(兵庫医科大学出身)

私自身、神奈川県出身ですが大学時代は関西に住んでいました。研修を始めた最初の頃は、武蔵小杉に知り合いなどいないし、寂しいというのが本音。出身大学で研修すれば良かったと思ったこともありましたが、けれど意外と同窓生達が頻繁に会っている訳でもない気づきました。逆に私が関東にいる事で東京に来てくれた友人から連絡があり、楽しい時間を過ごすという事もありましたし、結婚式ラッシュで関西に呼ばれ、軽い旅行気分ですトレスも発散した、という事もあります。今いるところを飛び出して、異国の地で研修するのも楽しいし、一生の仲間を作るチャンスです!!ぜひ日本医科大学 武蔵小杉病院で研修しませんか?一緒に切磋琢磨しましょう!!待ってます!!

## アットホームな大学病院

初期臨床研修医(1年目) 平井 歌織(信州大学出身)

武蔵小杉病院は、大学病院でありながら非常にアットホームです。各科の距離が近く、困った時には必ず上の先生方のサポートを受けられます。主要な内科を網羅的にローテートできるほか、夜間救急のファーストタッチや、手技も日々多く経験できます。症例も豊富なので専門医取得の際にも困ることはありません。一方で忙しすぎず、自分の時間もきちんと持てるので、オンもオフも充実できますよ!

# 募集要項

当院で初期臨床研修を希望される方は、日本医科大学付属4病院合同初期臨床研修医採用試験を受験した上で、マッチング管理機構に登録を行う必要があります。当院の選考結果をマッチング管理機構に登録し、その結果により採用を内定します。

応募資格 日本の医師国家試験受験予定者及び合格後、医師免許証を取得する見込みの方

募集人員 1年次 11名

応募期限、提出書類、研修プログラム内容など、詳細は病院ホームページをご覧ください

## 処遇

- 研修手当金：249,700円/税込(宿日直手当込み) ※宿日直手当：5回/月(内、土曜日1回含む)の場合
- 別途、通勤手当有り(上限50,000円)
- 各種税金、保険料等が引かれます
- 健康保険等：日本私立学校振興・共済事業団と労働者災害補償保険に加入します
- 臨床研修医は常勤とし、臨床研修医就業規則に基づき勤務することになります

資料請求・提出先、見学実習問い合わせ先

日本医科大学武蔵小杉病院 庶務課  
〒211-8533 川崎市中原区小杉町1丁目396番  
電話(044)733-5181内線2420  
[ホームページ http://kosugi-h.nms.ac.jp/](http://kosugi-h.nms.ac.jp/)